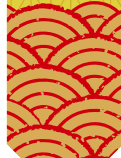




さきとやまべ

謹賀新年



平成30年1月1日現在

世帯数	5,238 戸
人口	5,796 人
男女	6,146 人
計	11,942 人

元日は一段と空が澄み渡り
ご来光はすばらしく、良き一
年を予感いたしました。
去る年は台風や大雨の被害
も少なく気候も安定し、アルプ
スに守られた我が松本の風土
に今更乍ら感謝の一年でした。
振り返りますと去年の日
本を圧巻した流行り言葉に
「村度」と云うのがありました。
古代中国の「詩経」と云う書
物に出てくる「人の心を推し
はかる」と云う美德を表わす
意味だったそうです。
しかし森友学園の国有地購
入疑惑にこの言葉が使われる
や、政治家や上役に対する「追
従」や「おべっか」の意味となっ
てしまい、メディアも好んで
使い、お笑い芸人のネタにも
なっており、国語学者の方々は「村
度」と云う清らかな言葉が汚さ
れてしまった」と嘆いておら
れるとのことでした。



復活した小松町の三九郎

も増して心配なのは、経済優
先のアベノミクスによる地方
文化や伝統の衰退です。当里
山辺地区にも沢山の歴史や文
化があります。活字離れもあ
りますが、ぜひ公民館報を通
じて楽しいこともいっぱいあ
る自分の暮らす地域にも目を
向けてほしい。
私の暮らす小松町会でも
三九郎が町会長はじめ町会の
皆様のご苦勞で、五年ぶりに
復活することになりました。
子どもたちのために嬉しい限
りです。本年もよろしくお願
いいたします。
館報編集委員 横山 俊作

わが町紹介②

● 湯の原町会 ●

体験活動

昨年湯の原町会独自の活
動として、おたのしみ見学会
体験講演会等を行いました。

おたのしみ見学会は「地元
の文化を見直そう」をテーマ
に普段見過ごしている施設等
を訪ね歩きました。
一昨年は時計博物館、はか
り資料館、松本市立博物館、
松本民芸館等を路線バスと徒
歩で見学しました。



国宝松本城を見学

昨年は第二部として松本
城、松本神社、旧開智学校、
姫宮神社、市内の湧水群巡り
を行いました。松本城では市
のボランティア案内の方に説
明をお願いし、市内に住んで
いながら意外に知らなかった
お城の知
識を勉強
させてい
ただきま
した。ま
た、天守
閣に登っ
た事な
い人が多
く天守閣からの眺めを楽しん
だり外国人観光客の多さに驚
いていました。
旧開智学校では参加者の中
に卒業生が居て教室を懐かし
んでいました。

体験講演会では、湯の原在
住の貴重な体験をお持ちの方
に講師をお願いし、昭和20年
22才の時に長崎で被爆経験を
された元中学校教員の方の体
験談や元製薬会社の方から新
薬開発による正しい薬の選
び方・飲み方について講演い
ただきました。
湯の原公民館長 花岡 則夫

「助けて」を言える

地域づくり勉強会

「我が事として考える」

年末押し迫る12月18日(月)、
1回目につき多くの方にお忙
しい中をご参加いただき、第
2回勉強会
が開催され
ました。

1回目では松本大学
尻無浜博幸
教授よりこ
れからの地
域づくりで
求められる
地縁による

生活基盤整備の重要性につ
いての講演と町会を分けての
グループワークで実情につ
いて意見を交わしました。

今回は東部地域包括支援セ
ンターより、介護保険制度に
触れ、生活支援は制度だけ
では支えきれないことを事例
も交えてイメージしてもらい、

参加者ご自身が今後の地域
での生活には何が必要かを
考えるきっかけとして投げか
けていただきました。

尻無浜教授からもグループ
ワークの前段において「社会
保障制度の対象とならない一
歩手前の者への支援に課題が

生じており、住民の支え合い
文化に基いて、できることは
人それぞれだが、それを共有
することだけでも違うので
は」との投げかけをいただき
ました。

グループワークは1回目と
同様の町会分けて、町会や一
人ひとりでのどんな助け合い
ができるかについて意見交換
し、活発に意見やアイデアを
出していました。

次回は今回の意見をより具
体的にできるような意見交換
ができればと考えております。

東部地域包括支援センター

勝山 英敏

勉強会の様子



勉強会の様子

勉強会の様子

次世代を担う若者に期待!

平成29年度里山辺地区で成人になられた方は、男性46人、女性66人の合計112人です。おめでとうございます。

成人になって

篁 恭輔(上金井)



成人の門出を迎える恭輔さん

成人を迎え、嬉しく思います。この20年間日々健康で生活できたのは、家族や友人の支えがあったからです。いろいろなことで笑ったり、仕事の愚痴を聞いてもらったりと、そんな人が身近にいるのはとても幸せだと感じます。この場を借りて感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。

支えてくれた両親に感謝

吉越 涼香(新井)

成人式というひとつの節目をむかえ、様々なことが自由になります。その一方で自分の行動には責任を持たなければいけないということも実感しています。

私は高校を卒業して働き始め今年で社会人3年目をむかえます。学校生活とは大きく環境が変わり辛い時もありましたが両親が支えてくれました。そんな今まで育てて支えてくれた両親、お世話になった先生方に感謝しながら、恩返しできるようにこれから一杯がんばっていきたく思います。



お友達と晴れ姿の涼香さん(左)



日頃より大勢の皆様にご利用いただきありがとうございます。今回は図書クイズという形で本の借り方返し方を再確認していただきたいと思います。

〇×で回答

- ① 無人の図書コーナーだから図書カードは必要ない
- ② 一回に本を何冊借りてもOK
- ③ 借りた本は直接本棚に返す
- ④ 他の図書館の本も返却可能
- ⑤ 借りた本を失くしてしまっても特に問題はない

歌で健康力アップ講座 側面からリポート

里山辺公民館で平成24年9月5日新しくスタート! 歌を楽しく歌って、健康になると評判の講座です。講師の木次由美子先生(生涯学習音楽指導員・ヴォイストレーナー)は松本市制百周年記念曲「ふるさと」は百彩の作曲者として有名です。さあ!健康教室の始まりです。参加者の皆さん緊張し

か?答えは最後に記載してあります。また図書コーナーに解答の詳細がありますので再確認をお願いいたします。●中央図書コーナーよりお願い



- 答
- ① × ② × ③ ×
 - ④ × ⑤ ×

図書視聴覚委員会

里トピックス

ワイワイ

もちつき大会

12月9日に、地区内の伝統文化を体験する講座として杵と臼を使ったもちつきを体験しました。約150人の参加者の中に物珍しさを楽しむ子ども達が目立ち、自分でついた出来立てほやほやのおもちを美味しそうにほおばっていました。

御柱木遣り歌

四柱神社境内に響く

11月18日に四柱神社で開催された「第4回まつもと城下町えびす講しようふく祭」に里山辺地区を代表して須々岐水神社御柱祭一の柱の3町会(薄町・荒町・西荒町)が合同で出演しました。松本の伝統芸能の祭典を特徴的な節回しの山辺の木遣り歌が盛り上げました。

なり、心身ともに健康になると笑顔が多くなり体の動きも元気になります。

歌で健康力アップが出来る様に、皆さんを導いていきたいと熱い思いで、日々歌の指導に当たっている姿に、熱いものを感じたりリポートでした。

北小松 宮澤 一男